

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年12月07日

計画の名称	(第2期)奈良市における快適で活力ある暮らしの実現												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	奈良市												
計画の目標	奈良市において、下水道整備を行い、快適で活力のある暮らしを実現するとともに、豪雨による市街地の浸水防止、安全で安心なまちづくりを推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	400	A	400	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R3当初	中間目標値 R5末	最終目標値 R7末
1	下水道処理人口普及率を91%から92%に向上させる。 下水道処理人口普及率 下水道処理区域内人口(人)/総人口(住民基本台帳人口)	91%	92%	92%
2	単独処理区広域化計画策定率を0%から100%に向上させる。 単独処理区広域化計画策定率 広域化計画策定済箇所/広域化計画を策定すべき箇所(1箇所)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	奈良市	直接	奈良市	管渠(汚水)	新設	大和川第一処理区管きよの整備	汚水管 200 L=2200m	奈良市						300	-	
	A07-002	下水道	一般	奈良市	直接	奈良市	管渠(汚水)	-	単独処理区広域化計画	広域化計画策定	奈良市						100	未策定	
												小計						400	
												合計						400	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04			
配分額 (a)	123	0			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	123	0			
前年度からの繰越額 (d)	96	83			
支払済額 (e)	136	83			
翌年度繰越額 (f)	83	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称：（第2期）奈良市における快適で活力ある暮らしの実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との整合性 1) 都道府県構想と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との整合性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 1) 地域の課題を踏まえた目標となっている	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 2) 基幹事業と効果促進事業の一体性が確保されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 1) 計画に具体性があり、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 2) 計画について住民や関係機関等の中で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動、関連事業との連携等による相乗効果発現の確実性） 1) 住民等から事業実施の要望がある。	○

(参考様式2) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	(第2期) 奈良市における快適で活力ある暮らしの実現		
計画の期間	令和3年度 ~ 令和7年度 (5年間)	交付対象	奈良市

